

## モノづくりの創造性——持続可能なコンパクト社会の実現に向けて

野口尚孝・井上勝雄 著

海文堂出版(株) 2014

¥1,800 (ジュンク堂書店、丸善、アマゾンなどから入手可能)

### ●内容についての著者よりの説明:

本書は、人類のモノづくりという広い視点からとらえたデザイン行為の在り方に関する本です。全体は3部構成となっており、第1部は、現代文明におけるモノづくりの在り方への批判と、それに代わる新たなモノづくり体制への示唆を含んだ内容ですが、その基調は18世紀以来台頭した近代産業革命により、産業経営者の手に奪われてしまったモノづくりの主導権とその創造性を、もう一度生活者の手に取り戻そうという主張です。そしてその中で、本来あるべきモノづくりの創造性とは何かをもう一度考え直してみようというものです。

デザイン行為の本質はその創造性にあると言えますが、現代社会においては、消費の促進拡大が経済成長には必須の要件とされ、デザインの創造性がそれを促進するための「創造性」となっていること、しかし他方では、消費の無際限な拡大によって私たちの存在そのものが依って立つ地球資源や自然環境全体が危機に瀕していくという、いわば絶対的矛盾の状況に立たされていると言っても過言ではないでしょう。

こうした中で、売るための過剰な消費促進を前提とするのではなく、生活者自身が本当に必要なモノを創造し、それを必要なだけつくることでやっていける社会（これを本書ではコンパクト社会と呼んでいます）を目指し、それに向けて本来のデザイン創造性を考えるにはどうすれば良いかを論じています。

全体の中心的部分を占める第2部では、デザイン思考の本質的構造や発想の支援方法についてさまざまな実験を通じて得られた知見を通じて具体的に述べています。まだ筆者の研究が進行中なので、コンパクト社会に向けてのデザイン発想支援という意味では必ずしも充分とはいえないとらえ方もありますが、次世代社会のデザイン発想の在り方やそれに向けての研究の手がかりになると考えております。

第3部では、生活者の創造性とはどのようなものか、実例を挙げて述べ、第1部で示唆した、コンパクト社会に向けたモノづくりの創造性とはどうあるべきかを具体的に論じています。

これらを通じて、読者（特に若い世代の）が近未来の社会とそこでのモノづくりの在り方をどのように築いていくべきかを考えるきっかけになることを期待しています。

### ●目次:

#### 第1部 モノづくりにおける創造性---その歴史と未来

1. 創造性ってなに？
2. 人類の創造性はどこからきたのか？

- 2-2. 道具としてのモノづくり
- 2-3. 道具としてのモノづくりがもたらしたもの
- 3. モノづくりの歴史と現在
  - 3-1. 古代の歴史的文化的遺産をつくった人々
  - 3-2. 中世職人社会のモノづくり
  - 3-3. 近代社会のモノづくりの特徴
  - 3-4. 現代社会特有のモノづくりの登場
- 4. 現代社会のモノづくり体制への批判
  - 4-1. 現代社会におけるモノづくりの矛盾
  - 4-2. セルジュ・ラトゥーシュの主張
  - 4-3. ラトゥーシュへの疑問
- 5. 次世代社会のモノづくり体制への展望
  - 5-1. 生活者とは何か？
  - 5-2. 次世代社会のアイデアスケッチ

## 第2部 創造的思考の世界

- 6. モノづくりにおけるデザイン思考の構造
  - 6-1. 問題解決型デザイン思考
  - 6-2. 「コトバをカタチに変換する思考」に関する実験と考察
  - 6-3. モノづくりデザイン思考の全体像
- 7. 創造的思考支援のための知識運用法
  - 7-1. 推論
  - 7-2. 推論をもとにした創造的思考
  - 7-3. 強制推論
  - 7-4. ひらめき
  - 7-5. 「気づき」
  - 7-6. 「よい試行錯誤」の支援
  - 7-7. まとめ

## 第3部 創造的生活のために

- 8. 生活者の創造性とは？
  - 8-1. 本来のモノづくりの創造性とは？
  - 8-2. 生活者の発想
- 9. 次世代社会の生活者の創造性を考える
  - 9-1. 生活者による個の主張と共同体との関係について
  - 9-2. コンパクトな社会を目指す生活者の創造性
  - 9-3. 生活者自身によるモノづくり創造力と美意識の表現

あとがき



著者紹介

**野口尚孝** 博士（工学）

1996年：千葉大学工学部デザイン工学科 助教授

1998年：千葉大学大学院自然科学研究科環境形成科学講座 教授

2003年：北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科 教授

2006-9年：ジャストシステム（株）デザインリサーチフェロー

現在：フリーランス、専門はデザインの創造性とその支援に関する研究、デザイン基礎論。

日本デザイン学会名誉会員、日本認知科学学会会員。

**井上勝雄** 博士（工学）

2000年 三菱電機（株）デザイン研究所部長を経て

2002年 広島国際大学心理科学部 教授

専門はインターフェースデザイン、感性工学、デザイン評価、デザイン設計論、「デザインと感性」など著書多数。

日本感性工学会理事、日本デザイン学会会員。

以上